

## 情報公開文書

課題名 : ヒト固形腫瘍の遺伝環境表現型相関

研究期間: 2016年4月1日～2021年3月31日

### 1. 研究の対象

2016年4月から2021年3月までに当院で固形腫瘍（胃癌、大腸癌、肺癌）の手術をうけられた方々。

### 2. 研究目的・方法

腫瘍の手術をされたかたは、病理診断を行い、その腫瘍の種々の性格を解析して、診療の指針を得ます。また、疾病の全体的な傾向を明らかにするために、統計解析を行い、医学の進歩、将来の診断・治療のために種々の探索といった作業が行われています。本研究はとくに上記の固形腫瘍が病理部門に提出されたあと、病理診断に必要な部分の残余の部分を用いて、非腫瘍部、腫瘍部の核酸やその修飾、予後に関係する分子マーカーの探索、診断法の開発や評価、ヒトの代々受け継がれる遺伝的な特性（遺伝子多型）、生活習慣を反映すると考えられている痕跡（DNA付加体・マイクロバイオーム）、あたらしい検出機器による脂質成分の同定（質量顕微鏡）といった多角的アプローチで腫瘍の将来の治療を開発することを目的とします。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料は、病理診断に使われた組織の残りの部分で、病理番号で管理、蓄積したあと、研究のための別個の番号で管理されます。個人の特定につながる情報を削除して行います。

### 4. 外部への試料・情報の提供

試料は、病理診断に使われた組織の残りの部分で、病理番号で管理、蓄積したあと、研究のための別個の番号で管理され、個人の特定につながる情報は削除されます。

外部への資料や情報提供には、直接手渡し、郵送、記録媒体や電子的配信を用います。

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者のもと保管・管理します。

### 5. 研究組織

浜松医科大学 梶村春彦

国立がん研究センター 吉田輝彦

静岡県立大学薬学部 渡辺賢二

その他多数の関連施設：多施設共同遺伝性腫瘍「汎用プロトコール」の臨床疫学的データに基づく、ゲノム情報で規定される超高リスク群捕捉法の確立（国立研究開発法人国立がん研究センター 吉田 輝彦）

磐田市立病院 谷岡書彦

聖隷三方原病院 小川博

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号

浜松医科大学腫瘍病理学講座 担当者：梶村春彦

TEL：053-435-2220 FAX：053-435-2225

E-mail：hsugimur@hama-med.ac.jp

研究責任者：浜松医療センター 病理診断科 森弘樹

研究代表者：浜松医科大学腫瘍病理学講座 梶村春彦

-----以上